

広島県教育委員会は、絵本の読み聞かせをおすすめしています



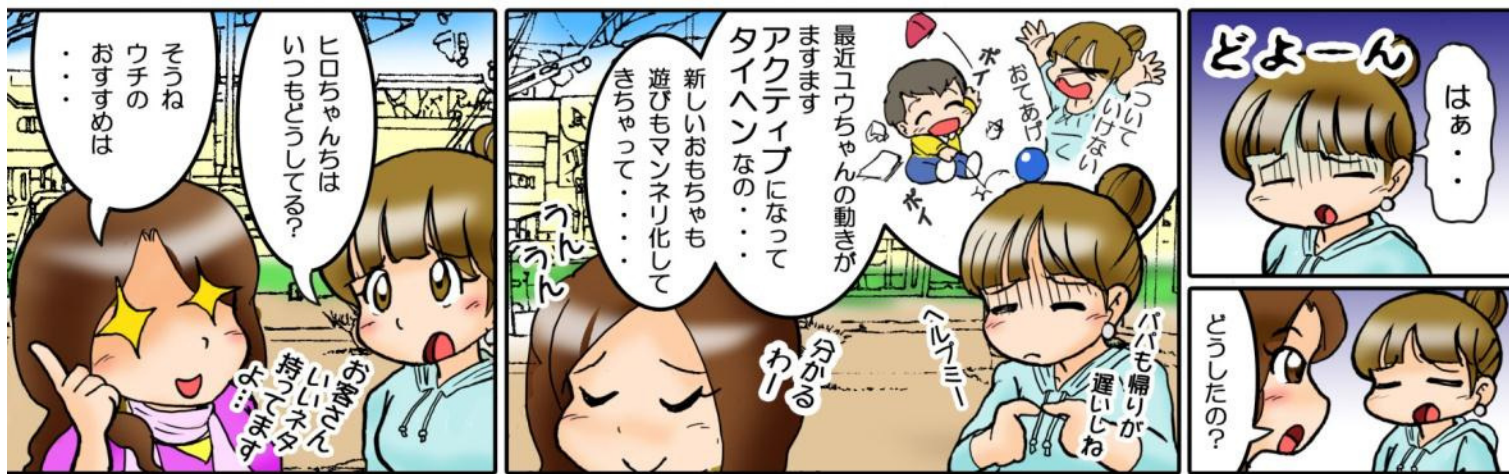
● 子供をおひざにだっこして絵本を読んだり、うたをうたってあげたいしていると、心がほっとしてきます。親子とも笑顔がふえるかもかもしれません。

● 子供に絵本を読み聞かせると、興味・関心が発見でき、成長を実感することができます。それがなによりもうれしいです。

絵本で子育てを楽しく！



「ウチの子に絵本はまだ早いかな…」と思っても、まずは体験してみてください。



● 赤ちゃんが大好きな絵本の紹介



『いないいないばあ』

松谷みよ子/文 瀬川康男/絵 童心社 1967
赤ちゃんが大好きな「いないいないばあ」遊びの絵本です。



『じゃあじゃあ びりびり』

松井紀子/作 偕成社 1983
赤ちゃんにとって身近な物の、音の繰り返しが楽しい絵本です。



『おててがでたよ』

林明子/さく 福音館書店 1986
体の名前に興味を持つきっかけになるかもしれません。



『がたんごとんがたんごとん』

安西水丸/さく 福音館書店 1987
汽車がやってくる楽しい雰囲気伝わります。



『もこもこもこ』

谷川俊太郎/作 元永定正/絵 文研出版 1977
ユニークな形と音が楽しい絵本です。



『きんぎょがにげた』

五味太郎/作 福音館書店 1982
水槽から小さなきんぎょが逃げ出して…きんぎょは「どこ」?

参考「赤ちゃん向け絵本ガイド」広島県立図書館/編集 広島県読書推進運動協議会

～ おすすめの絵本の特徴 ～

- 子供の好きなものがのっている
- 身近な動物や植物が登場する
- 生活の中のことばこられている
- ことばや音のくり返しがある

文部科学省 HP『子ども読書の情報館 絵本で子育てを楽しく』より

あーいた！！



どこにいるのかな？

- 布絵本 ● しかけ絵本
- お風呂絵本 ● 手作り絵本 …

さまざまなタイプの絵本もあります。

「おひざにだっこ」してやさしく包み込んであげましょう

読み聞かせによる3つの育み

ゆたかな「こころ」

赤ちゃんは、お父さん、お母さんや家族のあたたかな声の響きや肌のぬくもりが大好きです。安心できる声で語りかけてもらうことで、愛情を感じ、人との関わり方や、相手を思いやる気持ち、社会性を育てていきます。

やさしい「ことば」

心地よい声の響きやリズムを楽しみながら、たくさんの「ことば」を吸収し、想像力を豊かにしていきます。

「まなぶちから」

身近な人とのふれあいの中で、言葉を学び、聞かす力や、表現する力を育てていきます。同時に、いろいろなことへ興味・関心を持つようになります。

読み聞かせや子育てについて、もっと学びたい方は…

「親の力」をまなびあう学習プログラム（通称「親プロ」）をおすすめします！

- 親子関係や家族関係をより豊かなものにしていくきっかけ作りのために、子育てについて交流しながら学び合う「寄って、話して、自ら気づく」参加型の学習プログラムです。
- 少人数でも、多くの方が集まれる場合でも実施できます。
- 様々な場面で使える複数のプログラムがあります。
- 話し合いを進行するためのファシリテーター（講師）を派遣します。



ワークシートを使って学習します。

「『親の力』をまなびあう学習プログラム」についてのお問い合わせは **今すぐこちらまで！**

広島県立生涯学習センター TEL：082-248-8848

メール：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

H P：http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/

はっとりひろしま

検索

← クリック！



お気軽にご相談ください



または各市町の「家庭教育担当課」へお問い合わせください。